

1月号

2015年

月	火	水	木	金	土	日
---	---	---	---	---	---	---

			1 	2 	3 	4 
5 	6 	7	8	9	10 ◆作文倶楽部 土曜日クラス	11 
12 	13	14	15	16	17 ◆作文倶楽部 土曜日クラス	18 
19 	20	21	22	23	24 ◆作文倶楽部 土曜日クラス	25 
26 	27	28	29	30	31 ◇第15回SST 年中セミナー	

☆通常授業は、1月7日（水）から始まります。



は、休塾日です。

お問い合わせ

月	火	水	木	金	土	日
---	---	---	---	---	---	---

			1 	2 	3 	4 
5 	6 	7	8	9	10 ★キッズラボ 月2回クラス ●作文倶楽部 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス	11 ☆キッズラボ 月1回クラス
12 	13	14	15	16	17 ☆キッズラボ 月1回クラス ◆SST年長 土曜日クラス	18 
19 	20	21	22	23	24 ★キッズラボ 月2回クラス ●作文倶楽部 月2回クラス ◆SST年長 土曜日クラス	25 
26 	27	28	29	30	31 ◇第15回SST 年中セミナー	

☆通常授業は、1月7日（水）から始まります。

 は、休塾日です。

お問い合わせ

1月のご案内

🌀 新年度に関するご案内

今後は、以下のスケジュールで新年度についてご案内する予定です。

- 1月 ◆公開説明会・体験会のお知らせ
- 2月 ◆2015年度スクールカレンダー
◆シーガルスクールガイドブック
◆地球応援団！COSMOS規約
◆2015年度受講クラスのご案内

来年度もシーガルスクールをどうぞよろしくお願いいたします。



🌀 作文倶楽部・SSK・キッズラボ 体験会・説明会

楽しく文章を書くことを通じて自己表現の術を身につけるシーガル作文倶楽部と、国語・算数を通じて感じ・考える力を伸ばすSSK（シーガル・スーパー・キッズ）、楽しみながら「科学する心」を育てるキッズラボの無料体験・説明会を同時開催します。学校のカリキュラムにとらわれない独自の教材を使った「心と頭を磨く授業」を、ぜひ一度ご体験ください！

☆新年長は、1月31日（土）に、

新小1～小3は、1月25日（日）、2月8日（日）、3月8日（日）に開催予定です。

詳細は1月に配付予定のご案内をご覧ください。

☆新小1の作文倶楽部・SSK・キッズラボは、4月より開講します。



🌀 キッズラボ ウィンターセミナー（シーガル2ndのみ実施）

毎回好評のキッズラボ ウィンターセミナー。

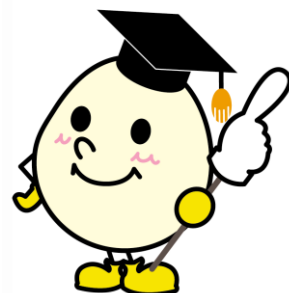
現年長～2年生の低学年コースと、現3～6年生の高学年コースと開催の予定です。

どちらも好奇心を刺激し、楽しみながら「科学する心」を育む実験です。

来年度、キッズラボレギュラークラスの受講をお考えの方には、体験も兼ねての受講ができるのでお勧めです。ぜひ、ご参加ください。

☆ 2月1日（日）11日（水・祝）22日（日）に開催予定です。

詳細は1月に配付予定のご案内をご覧ください。



書くチャンスをどの子にも。

シーガルスクールの秋冬の風物詩『シーガル読書マラソン』が終わりを迎えました。例年、秋の読書マラソンでは、スクール全体で目標ページ数を掲げ、それに向かって各々が本を読んできました。しかし、今回は、ページ数をたくさん読むのではなく、素敵な本とじっくり向き合ってほしいという願いから、読んだ本の感想カードを持ち寄り、それによってクラスで競い合いました。

はじめは「感想なんてどうやって書いたら良いか分からない…」「こんなに長く感想を書けない！」と弱腰の子どもたちも。また、感想のシートにびっしりと物語のあらすじを書く子も少なくありませんでした。

けれど、2ヶ月の期間を経て、子どもたちの本に向かう姿勢からは、確実に成長が感じられました。感想のシートを最初は渋々持って帰って行っていたのに、2ヶ月後には自分から感想のシートを持って帰り、そのシートをもらうのを忘れて、別の紙に書いて持ってくる子。あらすじしか書けなかったのに、最後の1行に自分の思ったことを入れられるようになった子。クラスメイトに「この本、キミにぴったりだよ」とオススメする子も。みんな何かしら、この読書マラソンの2ヶ月間で前とは違った姿を見せてくれました。

また、いつもは字を追うだけの読書も、感想を書くつもりで読むと、いつもよりもじっくりと読み深めてくれているように感じます。自分が気になった場面は何度も読み返し、どうしてそこが心に残ったのか考え、この本は何を伝えたかったのか、自分なりに解釈しようとします。大人からしたら「そこが心に残ったの？」と思うこともあるかもしれませんが、その年齢のその子自身が感じた心を認め、大切にすることが、私たち大人の役目なのです。

「書き方が分からないから書かない」

「何を書いて良いか分からないから書かない」

それではいつまでたっても書けるようにはなりません。大切なのは、『書くチャンス』なのです。あらすじを書いて来てしまった子も、初めはそれでいいのです。最初から素晴らしい感想文が書ける子なんて本当に僅か。私たち大人が出来ることは、子どもたちが『書く』という第一歩を踏み出せるように、背中を押してあげること。そして、踏み出した子に、アドバイスをすること。だからこそ、シーガルスクールでは、これからも、この『書くチャンス』をどの子どもたちにも与えてくスクールであり続けます。

